

平成25年度  
色覚障害者の移動等円滑化に関する調査研究  
報告書

平成26年3月

国土交通省 総合政策局



平成25年度 色覚障害者の移動等円滑化に関する調査研究 委員名簿  
(順不同・敬称略)

秋山 哲男	日本福祉のまちづくり学会 会長
岡嶋 克典	横浜国立大学大学院 環境情報研究院 准教授
松田 雄二	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 准教授
井上 賢治	井上眼科病院 院長
仲泊 聡	国立障害者リハビリテーションセンター病院第二診療部長
大野 央人	公益財団法人鉄道総合技術研究所 人間科学研究部人間工学 主任研究員
坂本 隆	独立行政法人産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門 ニューロテクノロジー研究グループ 主任研究員
中村 豊四郎	アール・イー・アイ株式会社 代表取締役
原 利明	鹿島建設株式会社 建築設計本部 品質技術管理統括グループ 環境・性能グループ チーフアーキテクト
松原 淳	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部 企画調査課長
伊藤 啓	特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長
矢野 喜正	色覚問題研究グループぱすてる 運営人
大橋 由昌	社会福祉法人日本盲人会連合 情報部長
三原 弘嗣	東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 設備部課長
田中 直人	小田急電鉄株式会社 旅客営業部 設備・旅客システム担当課長
亀山 勝	東京地下鉄株式会社 鉄道統括部 移動円滑化設備整備促進担当課長
石山 齊	一般社団法人全国空港ビル協会 常務理事
中野 智行	国土交通省鉄道局技術企画課 課長補佐
櫻田 薫	国土交通省航空局航空ネットワーク部航空ネットワーク企画課 専門官
渡邊 峰樹	国土交通省住宅局建築指導課 課長補佐
大熊 昭	国土交通省総合政策局安心生活政策課 交通バリアフリー政策室長
事務局	国土交通省総合政策局・社会システム株式会社



# 目 次

<b>1.本調査研究の概要</b> .....	1
(1) 本調査研究の目的 .....	1
(2) 本調査研究を実施する上で配慮した着眼点 .....	2
(3) 本調査研究の実施フロー .....	4
(4) 調査研究実施における基本的な考え方(検討の条件) .....	5
<b>2.色覚障害者の実態の把握</b> .....	6
(1) 色覚異常の概要 .....	6
(2) 既往調査の整理 .....	8
(3) 当事者ヒアリングによる実態の把握 .....	13
(4) 交通事業者へのヒアリングによる実態の把握 .....	20
(5) 交通事業者の工夫事例 .....	24
<b>3.色を用いた案内誘導設備を検証するための実証実験</b> .....	28
(1) 実証実験計画 .....	28
(2) 実験協力者の概要 .....	44
(3) 実証実験結果 .....	47
(4) 実証実験結果のとりまとめ .....	88
<b>4.色覚障害者に配慮した設備整備のあり方の提案</b> .....	107
(1) 色覚障害者の視覚特性について .....	107
(2) 色覚障害者に配慮した設備整備のあり方 .....	113
(3) 本調査研究において残った課題 .....	123

参考資料1 当事者ヒアリング詳細

参考資料2 実証実験結果詳細

参考資料3 ワーキング概要と委員指摘事項

参考資料4 委員提供資料

## 用語に関する注意点

色覚に関する用語は、専門分野の違い等により、同じ意味でも複数の用語が使用されている場合がある。本調査研究を進めるにあたっては、下記の用語を使用した。

用語の意味	本調査研究で使用する用語	現在使用されている用語
色覚異常のうち、色の見え方に支障や困難があること、また、その人	色覚障害 色覚障害者	色覚障害(者)、色覚障碍(者)、色覚異常(者)、色覚特性、色弱(者)、色盲、先天色覚異常(者)、後天色覚異常(者)
色覚障害のないこと、また、その人	正常色覚 正常色覚者	正常色覚(者)、色覚正常(者)、一般色覚(者)
下記色覚異常、また、その人の総称	色覚異常 色覚異常者	色覚異常(者)
色覚の類型及び程度	1型2色覚 1型3色覚 2型2色覚 3型3色覚 異常3色覚 2色覚 1型色覚 2型色覚	1型2色覚/1型3色覚/2型2色覚/2型3色覚、 P型強度(P)/P型弱度(PA)/D型強度(D)/D型弱度(DA)、 第1異常/第2異常/第1色盲/第2色盲

ただし、引用した既往文献については用語の編集は行っていない。また、医学的な解説に関しては「医学用語辞典」(2005年 日本医学会)を参照し、医学用語を使用した。